

よりそう

YORISOU

vol. 24
2024 夏号

特集

新病院で 初めての入社式

OITA
NAKAMURA
HOSPITAL

社会医療法人恵愛会
大分中村病院

〒870-0044
大分市舞鶴町一丁目4番1号
TEL 097-536-5050
FAX 097-573-8030

大分中村病院広報誌『よりそう』vol.24
2024年 夏号 (2024年7月15日発行)
発行責任者/中村太郎
編集担当者/経営支援課 (綾木)



病院HP

ご自由にお持ち帰りください

目次

- P3. 新任の常勤医師のご紹介
- P4. 呼吸器内科のご案内
- P5. トラベルワクチン外来開設
- P7. 新病院への移転ダイジェスト
- P8. NAKAMURA NEWS
- P11. 病棟実績、入院・外来データ

新病院で初めての入社式



新入職員代表挨拶



辞令交付式

2024年4月1日、新病院に移転してから初めての新入職員入社式を行いました。

当院は今年度、新入職員53名(研修医4名、薬剤師1名、看護師24名、准看護師2名、理学療法士14名、作業療法士2名、臨床検査技師1名、臨床工学技士1名、事務員3名、栄養士1名)を迎え、中村理事長が祝辞を述べました。

また臨床研修医の佐藤啓輔医師が新入職員を代表し挨拶を述べました。

また同日午前中には辞令交付式を行い、4名が辞令を受け取りました。

みなさまおめでとうございます!



新任の常勤医師ご紹介



呼吸器内科 部長

重永 武彦 しげなが たけひこ

専門分野：呼吸器内科

資格等：医学博士、日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、Infection control doctor (ICD)

大分赤十字病院を退職後、5月に着任いたしました。呼吸器の病気で苦しむ地域の皆様のお役に立てるよう、ベストを尽くします。



整形外科 副部長

阿部 知佳 あべちか

専門分野：整形外科・関節外科

資格等：日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会指導医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、日本リハビリテーション医学会専門医、日本人工関節学会認定医、日本骨粗鬆症学会認定医

下肢関節の痛みでお悩みの方、ご相談ください。



整形外科 医師

酒井 佑 さかいゆう

専門分野：整形外科

資格等：日本整形外科学会

4月から赴任して参りました。まだ若手として勉強の日々ですが、診療に対してはひたむきに患者さんと向き合い、患者ファーストの医療を提供できるように心がけております。



婦人科 副部長

青柳 陽子 あおやぎ ようこ

専門分野：婦人科一般

資格等：日本産科婦人科学会産婦人科専門医

患者さんごとに最適な治療を提供できるよう、心がけてまいります。



形成外科 医師

吉村 静香 よしむらしずか

専門分野：形成外科

資格等：日本形成外科学会専門医

患者さん一人一人に最適な治療を、またわかりやすい説明を心がけています。よろしくお願ひします。



循環器内科 医師

古川 修平 ふるかわけしゅうへい

専門分野：循環器内科

地域の皆様のお力になれるよう、精一杯努力してまいります。

よろしくお願ひいたします。



臨床研修医紹介

臨床研修医
岩本 卓也 いわもと たくや

実際の臨床現場で患者さんに学ばせていただいていることへの感謝を胸に正確な知識と手技の獲得を目指し精進してまいります。

臨床研修医
佐藤 啓輔 さとう けいすけ

新病院として生まれ変わった大分中村病院で、医師としての初めの一歩が踏み出せることをうれしく思います。よろしくお願いいたします。

臨床研修医
深町 理貴 ふかまち りき

日々、勉強中の身ではありますが、知識・技術の至らない点を熱意で補っていこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

臨床研修医
幸 昂志 ゆき たかし

医師として必要な知識、経験、思考力、判断力といったことを少しでも向上させられるように日々精進していきたいと思っております。

呼吸器内科のご案内

対応する主な症状

呼吸器疾患は、鼻、口、喉、気管、気管支、肺、胸膜などの呼吸器系に影響を及ぼす病気や障害の総称で、下記に示すような呼吸器症状を伴います。呼吸器症状は患者さんの日常生活に大きく影響し、長い距離を歩けなくなる、食事や入浴、排泄などの日常の動作が辛い、息苦しさを覚えるたびに不安な気持ちになるなどの症状が現れます。また、呼吸器症状は呼吸器以外の問題で生じている場合もあります。異常を感じた場合は、なるべく早く病院を受診し、診察や



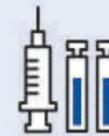
検査を行い、呼吸器症状がなぜ起こっているのかを明らかにする必要があります。また、入院診療においては、当院は呼吸リハビリテーションの拡充を目指しており、病気によって呼吸器に慢性的な障害が生じた患者さんが可能な限り呼吸機能を回復・維持し、症状を改善した状態で自立した生活が送れるよう支援しています。

主な症状

- ① 咳や痰、血痰 ② ゼーゼー、ヒューヒューする呼吸(喘鳴) ③ 息切れ、息苦しさ、呼吸困難
- ④ 胸痛 ⑤ 発熱 ⑥ 嘔声(させい)(声がれ)

外来担当医表

	月	火	水	木	金	土
午前	重永			重永		小宮



トラベルワクチン外来 開設しました



2024年4月より、専門外来「トラベルワクチン外来」を開設しました。海外渡航でのリスクを最小限にするために、渡航先に合わせたワクチン接種や感染症予防に対するさまざまな情報提供を行う外来です。

ビジネスのグローバル化や海外留学などで、海外への渡航機会が増える一方、日本人は海外での病気に対する予防意識が低いため、感染症の罹患者も増えています。当外来ではそうした方を減らすための活動に力を入れています。衛生環境の整った日本や欧米とは異なり、アジア・中近東・中南米・アフリカなどでは、日本では殆どみられなくなった感染症が依然として流行し、公衆衛生上の問題となっています。現在の日本人は、このような疾患に対して免疫力、抵抗力が極端に低下しているために、感染症に罹患する可能性も高くなっています。すべての感染症にワクチンが存在するわけではありませんが、予防可能な感染症に対しては、罹患を避けるために渡航前のワクチン接種をお勧めします。



トラベルワクチン外来 医師
西園 晃 にしぞの あきら

資格等：医学博士、大分大学医学部微生物学教授、大分大学 グローバル感染症研究センター長、インフュクシオンコントロールドクター、日本渡航医学会理事・認定医療職、日本感染症学会評議員・西日本理事、日本ウイルス学会評議員、日本熱帯医学会会員、日本医学協力研究会ウイルス性疾患専門部会副会長

● トラベルワクチン外来の対象者

※16歳未満の方へのワクチン接種は対応できません。

- ・海外旅行予定の方
- ・海外赴任予定の方とご家族
- ・海外に留学予定の学生の方
- ・海外から帰国した後、体調不良を感じている方

● 診療日 毎週金曜日 14:00～17:00

● 初診時に持参いただくもの

- ・マイナンバーカード(健康保険証)
- ・母子健康手帳(または、そのワクチン接種記録部分の写真)
- ・お薬手帳
- ・留学先指定のワクチン接種証明書(海外留学の場合)

● 受診の流れ

- STEP 01 予約**
※当外来は完全予約制です。右記のQRコードから予約をお願いいたします。
- STEP 02 受付**
LINE予約のマイページを確認させていただきます。
- STEP 03 診察**
予防接種を受けられる方は、当日肩まで腕を露出しやすい服装でお越しください。
【予防接種を受けた場合】
15～30分ほど経過観察をさせていただきます。
- STEP 04 会計**

ご予約・お問い合わせ

接種スケジュールや金額の詳細はHPをご覧ください。



ふれあい看護体験を行いました



高校生を対象とした看護師の職業体験「ふれあい看護体験」を2024年6月7日に行いました。

今年は大分市内高校3年生3名を受け入れ、看護師が実際に働く姿や、実際に手術着の着用や患者さんの足浴などの病棟ケアを体験しました。

参加者からは「今までにない体験ができた。改めて看護師になりたいと思った」「たくさんの職業の方が働いているのを実感した。楽しそうに仕事をされていた」「360度のスタッフステーションが印象的だった」とコメントいただきました。

将来、看護師として皆さんと働けるのを楽しみにしております。



2024年1月1日、大分中村病院は約60年過ぎた大分市大手町3丁目から舞鶴町1丁目に移転しました。病院建設と同時に移転計画を安全に進めるという大変ハードなスケジュールでした。

約2年に渡る移転計画は、建設図面には素人のメンバーが、部屋の広さや高さを図面から想像して、動線を考えながら医療機器や物品の配置を決めるという作業で、「機器が設置できなかったらどうしようか」と不安だらけでした。

できるだけ現場の感覚をもって取り組むために、看護師長13名とまだ建設中の病院へ、工事現場の方々の迷惑も顧みず、ヘルメットをかぶって入り、間取りや位置の確認をしたのがまるで昨日のようです。

移転日が元旦ということで、職員誰もがいつものような年末年始は迎えられないと覚悟はしていましたが、12月31日は21時近くまで病棟の片付けや患者さんが移るベッドの最終確認を行い、さらに年が明けた深夜2時まで新病院への患者受け入れ準備をしていた職員もいました。また、病院に残った108人の患者さんが安全に移転できるのか、3回繰り返した移転シミュレーションは課題も多く、すべてを解決

コラム

移転して6ヶ月がたちました



病室モデルルーム視察の様子。細かい確認と決断の連続だった。(2023年6月)

できていない中で、眠れない大晦日でした。

それが、実際始まると、穏やかな天気の中、一人のけが人も急変もなく、時間通りに移転が終了し奇跡に近いという思いと、土壇場で発揮されるこのチーム力の高さは、当事者が胸を張って誇れるものだといふ感動しました。

あの時の緊張感は遠くになってしまいました。新しい病院に移った時の感動は薄れつつありますが、新しい大分中村病院をこれからまた60年使い続けることを考えると、大切に丁寧に付き合っていきたいと思います。

(看護部部长 岐部)

2019年	11月	設計会社決定
2021年	4月	施工会社決定
2022年	7月	引っ越し業者、移転サポート業者決定 ※同時に院内の引っ越しコアメンバー決定
2022年 ~23年	10月 ~8月	院内の物量調査/ヒアリング/マップ作成 ①移送する物品 ②廃棄する物品 ③新規購入する物品
2023年	10月15日	新病院 竣工
	10月21日	第一回総合移転リハーサル (現病院のみ・搬出練習)
	11月25日	第二回総合移転リハーサル (新病院のみ・受け入れ練習)
	12月2日	第三回総合移転リハーサル 01-02 (現・新病院 本番と同様の流れを練習)
	12月16日	テープカット・内覧会
	12月28日	午前で外来終了 事前移転開始 03-04



2024年1月1日 入院患者搬送本番 05-11

[天候:晴 気温:10度 風速:3m/s]

8:30

移送開始

移送患者	108名	-重担架送	7名
		-担送	41名
		-護送	54名
		-独歩	6名

参加職員

220名

使用車両

17台(うち救急車3台)

11:30

移送完了

2024年1月4日 新病院での外来開始

新病院で初めてふるまわれた昼食

1月1日なので
お正月メニューの病院食。

社会福祉法人太陽の家で 新人研修を行いました

当院では新入職員が創設者・中村裕博士の理念と足跡を学ぶべく、毎年春に別府市の「太陽の家」および併設されている施設への見学研修を行ってまいりました。

コロナ禍で2020年以降実施できておりませんが、今年久しぶりに開催でき、肌身で当院の歴史を学ぶとともに、障がい者スポーツ体験などを通じて同期たちが交流できる機会を作ることができました。



2020年にオープンした太陽ミュージアムでは、中村裕博士が残した手書きのメモや言葉、その活動が年表などでわかり易くアーカイブ展示されている



オムロン太陽とソニー太陽の工場では、障がいがあっても働きやすい環境を作ることで世界水準の製品を生み出している



性別や年齢関係なく楽しめる車いすバスケットや卓球バレーなどのパラスポーツを体験

クレドカードの取り組み

「クレド」をご存じでしょうか? 「クレド」とは、ラテン語で「信条」という意味です。

2024年1月の新病院移転にともない、あらためて当院の果たすべき役割等を経営陣で何度も意見を出し、最終的に「こころざし」という言葉を用いて当院の指針を定めました。



それを具体化したのが「行動指針」です。

行動指針

ひとりの人間に、寄り添う。

命に、暮らしに、地域に。これからも真摯に、寄り添いつづけよう。

はたらく仲間を、認め合う。

役割の違いはあっても、優劣はない。話し合い、認め合い、歩み寄ろう。

これからの医療を、学び続ける。

医療は、進歩している。常に新しい知見を吸収し、成長し続けよう。

この言葉を日々業務の拠りどころにできるよう、「クレドカード」を作成しました。

わたしたちはこのカードを常に持ち歩き、行動や判断に迷ったときの道しるべとしています。

新病院からリニューアルしました

建物が新しくなっただけでなく、いろんなツールも新しくなっています! ご来院の際はぜひ見つけてみてください。



ブランドブック



ユニフォーム



診察券

WEB で見える大分中村病院

実は存在している「大分中村YouTubeチャンネル」。そのほか360度ビューによるバーチャル見学もできるようになっています! 患者にならずとも、少しでも当院のことを知ってもらえるよう、鋭意コンテンツ制作中です。



コンセプトムービー



看護部スタッフインタビュー



リハビリテーション部 クロストーク
「リハ部 本音で座談会」



新病院移転特番ダイジェスト



360° バーチャルビュー

令和6年能登半島地震における
大分JMAT第1班の活動を終えて

2024年1月1日、能登半島地震が発災し全国各地から様々な医療チームが順次支援に向かいましたが、大分県からは1月15日にJMAT第1班が派遣されました。私はその第1班大分三愛メディカルセンターチームとの合同チームの業務調整員として要請があり派遣されることとなりました。

被災している方々は冬の寒い時期に地震や津波によって住むところも追われ不安な毎日を過ごしていると思ひ少しでも寄り添う医療活動ができればと思ひました。

まず石川県七尾市で活動することになりましたが、七尾市に近づくにつれ雪や、亀裂が生じた段差により道路状況は悪化し徐行を余儀なくされる場面が多々あり、通常1時間程度で移動できるエリアも2時間から3時間かかるほどでした。

七尾市では病院などの被害状況の確認、医療再開の状況、不足する医療ニーズの調査を行いました。訪問したほとんどの施設で医療を再開して



雪や亀裂によって道路状況が悪い

いましたが、医療用水は給水を受けながら、さらにトイレは使用できない施設がほとんどでした。またかかりつけの患者が金沢市内へ避難しているため薬の処方などで困っていないか心配する声も多く聞かれました。

次に南加賀エリアで1.5次避難所[※]の開設作業を行いました。開設にあたり、一度にバスで

数十人の避難者が到着するため医療的スクリーニングの実施、トイレやシャワーなどの動線、体調不良者や有感染者もいるため居住区のゾーニング分け、といったことを検討しました。



体育館内に設置した1.5次避難所

行政や保健所、感染制御チームDICTや災害派遣ナースなど多くのカウンターパートと協力しながら2日間避難所での受け入れ活動を行い、後続チームに引き継ぎ1月20日に大分に無事帰りました。

多くの施設が断水という劣悪な環境にも関わらず医療を再開継続しており、大分で同規模の災害が発生したときに当院がどういう工夫を行い医療活動を行っていくかを今一度考える必要があると感じました。

最後に被災地に行くにあたり家族や同僚、行ってこいと背中を押していただいた院長や上司に感謝したいと思います。

(リハビリテーション部 理学療法士 黒田)



三愛メディカルセンターチームと共に

※1.5次避難所

被災地付近で応急的に設置する1次避難所を離れ、ホテルや温泉施設などの宿泊所や仮設住宅など長く滞在する可能性のある2次避難所に行くか家族の自宅に行くかなどを検討する期間を過ごす避難所。

旧病院建物で地震救助訓練を実施

当院の旧病院建物(大分市大手町)を活用し、大分市消防局と合同で地震救助訓練を2024年3月9日に実施しました。



要救助者が閉じ込められた状況を想定して実際に壁面破壊作業を行った

大分市消防局は海外の大規模災害時に派遣される国際消防救助隊(IRT)に登録されており、今回はそのIRTの訓練として旧病院を海外の病院に見立て、マグニチュード7.4の地震が発生、層崩壊を起こした病院建物に入院患者6名が取り残された、という想定で行われました。

救助隊員は入念に情報収集、安全確認、活動方針と救助計画の策定を行い、実際に建物の壁を機械で破壊して侵入し、閉鎖狭隙空間から、

また下層階からはロープレスキュー等により救助をしました。当院の医療スタッフはIRTに同行する医療チームとして活動し、救助された傷病者の診療や、救助隊員の補助のもと閉鎖狭隙空間に侵入して傷病者に早期医療介入を行いました。

また余震が発生したと想定して救助隊員、医療チームともに緊急退避を行う場面もあり、緊張感をもった現実味のある訓練となりました。今回の訓練で救助隊員と医療チームの連携を確認することができ、また安全管理の重要性についても学ぶことができました。

(事務部 総務課 河野)



災害現場での介入 事前シミュレーションの様子



病院からのお知らせ

2024年4月1日から、当院では現在の「面会禁止」を一部緩和し、ご家族からの希望による面会を可能としています。詳しくはホームページをご覧ください。

読者アンケートご協力をお願い

よりよい誌面づくりのために、読みたいテーマやデザインへの参考にいたします。



Google form から入力をお願いします！→

主な入院・外来患者データ (2024年3月~2024年5月)	
新入院患者数	295人 (月平均)
外来患者延べ数	5,345人 (月平均)
紹介受入件数	277件 (月平均)
救急搬送件数	144件 (月平均)
手術件数	172件 (月平均)

病棟別実績 (2024年3月~2024年5月)	病床数	稼働率	平均在院日数
一般病棟・急性期病床	120床	86.8%	13.9日
*3F南病棟	36床	-	11.2日
*4F南病棟	40床	-	13.6日
*4F北病棟	40床	-	17.6日
*5F南病棟(回リハ)	40床	90%	41.3日
*5F北病棟(回リハ)	40床	86.8%	40.8日
*6F南病棟(地ヶア)	60床	76.9%	16.3日
HCU	4床	62.7%	8.0日
病院全体	260床	84.6%	22.9日